

保健センター事業紹介

PART 1



一宮町保健センターで行っている町の保健事業をシリーズでお伝えします。
～第1回目は、『胃がん検診』と『特定健康診査』です～

定期検診で健康管理

胃がん検診

町の保健事業の一つに「がん検診」があります。6月に、ちば県民保健予防財団から検診車3台が来て、バリウムによる胃がん検診を行いました。

朝から食事をしないで受けて頂く検診のため、大変だったと思います。5日間で796名の方が受診されました。また、皆様に不安なく安心して検診を受けて頂けるよう、バリウムの飲み方から検診後の下剤の服用までの検診内容を説明し、検診が終わった後も体調確認の電話や、問い合わせに対する相談等も行いました。

検診の結果、精密検査が必要となっても、医療機関に行かない方がいらっしゃいます。受診されない理由をお伺いしてみると「自覚症状がないから」・「大丈夫だと思っから」等の声をお聞きます。しかし精密検査から、がんと診断された方もいらっしゃいます。がんは早期発見・早期治療が大切です。

また「がんだったらと思うと怖くて病院に行けない」という声もあります。必ずしも精密検査になってもがんとは限りません。

胃がん検診の結果通知を発送致しましたが、精密検査の対象となった方は是非医療機関で更詳しい検査をお受

ける事をお勧め致します。

町では今後、子宮がん検診（9月）、大腸がん検診（9月）、乳がん検診（10月）を予定しております。早期発見のため一人でも多くの方の受診をお待ちしております。

新たな健診がスタート

特定健康診査

平成20年4月から住民健診が「基本健康診査」から「特定健康診査」に変わりました。これは「健康診査は各医療保険者が行う」となったもので、町が保険者となっている40～74歳の国民健康保険加入者と、広域連合からの委託により後期高齢者医療制度の被保険者（75歳以上の方。一定の障害認定を受けている方は65歳以上の方）を対象に5月と7月に健診を実施しました。受診者数は1,445名（うち特定健康診査対象者1,192名）でした。



特定健康診査では「腹囲測定」が新たに検査項目に加わりました。腹囲と共に血圧、血液検査の結果から「特定保健指導」の対象になった方には、楽しく運動し、暮らしに役立つ栄養の知識を身につけ、健康管理ができるよう支援するため、運動・栄養の教室を開催致します。対象者には通知致しますので是非参加して頂きますようお願い致します。より多くの方の参加をお待ちしております。

法改正により、健診の実施形態が変わり、住民の皆様には混乱や戸惑いもあったと思いますが、特定健康診査がより円滑に実施できるよう今後も協議・検討し、この健診が皆様に有意義なものになればと思っております。